



山と自然ネットワーク コンパス

登山者の、登山者による、登山者のための山岳情報ネットワーク

<http://www.mt-compass.com>

序) 登山者と登山計画(登山届)の現状

□ 登山者の現状

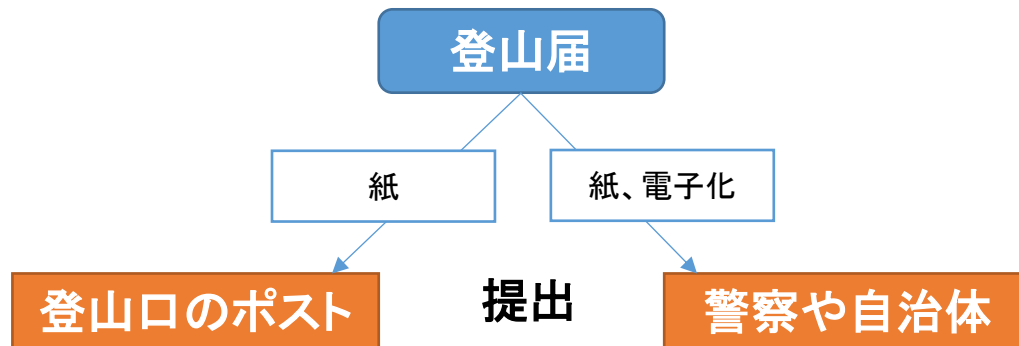
- 登山者数としては1,000万人を超えているが、継続的な登山愛好者数は600~700万人といわれている
 - 山岳会などに所属する組織登山者 20~30万人
(山岳団体に所属し、知識や技術、経験などが組織を通じて継承されていく登山者)
 - ガイドやツアーが引率する募集登山者 50~100万人
(初級者や未経験者向けのガイド登山やツアー登山に参加する登山者)
(登攀※1や雪山などのハイレベルなガイド登山やツアー登山に参加する登山者)
 - 単独や友人・グループ等で楽しむ個人登山者 500万人前後
(個人単位を基本としながら、友人・知人等とのグループ単位でも行動する登山者)
- 登山の目的や自然に接する嗜好が多様化し、さまざまなスタイルの登山形態が一般化している
 - 情報の入手方法が多様化したことで、専門的な知識等が身近な存在になった
- アルピニストからツーリスト、バケーションリストへの変遷
 - 登山スタイルが多様化したことによる登山者の意識や認識の差異

□ 登山計画(登山届)の実態

- 長野県を例にした登山届の現状
 - 長野県内の登山者数 約70万人
 - 登山届の提出件数と同行登山者数 約7万件、約22万人分
- 全国の登山届提出率(地域差有り) 10%~30%
- 提出率が少ない要因として
 - 登山計画を立てることの意識低下
 - 登山計画を提出する目的についての認識不足
 - 登山計画を提出する登山口ポストの未確認、整備不良
 - 登山計画を受け付ける窓口の多元化

序) 従来の登山計画(登山届)の課題

- 従来の登山計画(登山届)の提出方法



- 入山地から下山地まで、県境をまたぐ登山計画の対応

- ◆ 登山計画は入山地の管轄で提出されるため、県境を越えた中継地域や下山地域では情報が共有されていない。

- 下山通知

- ◆ 現状の登山計画では下山通知を行う仕組みが備わっていない。

- 登山者にとっての登山計画

- ◆ 提出する行為が義務的になり、本来あるべき目的と意味が登山者に浸透していない。

- 救助や捜索における情報収集

- ◆ 救助・捜索において登山届の閲覧が必要な場合、登山口のポストから回収したり、メールで送付された登山届ファイルを開き、該当者を探し出す作業が必要になるが、その作業の人的、時間的作業の負担が大きい。

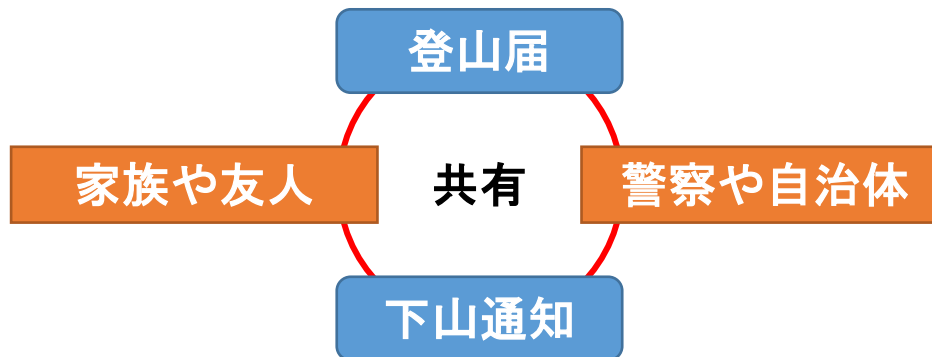
- 警察、消防などの救助者・捜索者と要請者との情報共有

- ◆ 登山口で記入した登山計画は家族等と共有できていないため、家族等が登山者の行動予定を把握していないケースが多く、捜索要請があっても山域が特定できず、初動対応に時間を要することがある。

- 登山届提出数が増加した場合の対応

- ◆ 安全登山を啓発することで登山届数が増加した場合、管理業務や個人情報の扱い等で負担が大きくなる。

● コンパス登山計画(登山届)の仕組み



● 入山地から下山地まで、県境をまたぐ登山計画の対応

- ◆ 全国山域の登山計画が窓口ひとつで登録できるため、登山者にとっても提出しやすく、県境をまたぐ救助・捜索などでの情報共有が容易になる。

● 下山通知

- ◆ コンパス登山届システムでは下山通知の提出率はほぼ100%行われている。

● 登山者にとっての登山計画

- ◆ 行動計画を義務的に提出するのではなく、家族や親しい友人と共有するという認識の浸透。

● 救助や捜索における情報収集

- ◆ 救助・捜索で登山届を必要とする場合、氏名、入山口、中継地、下山口等のキーワードで検索を行い、瞬時に該当の登山計画を閲覧することができる。

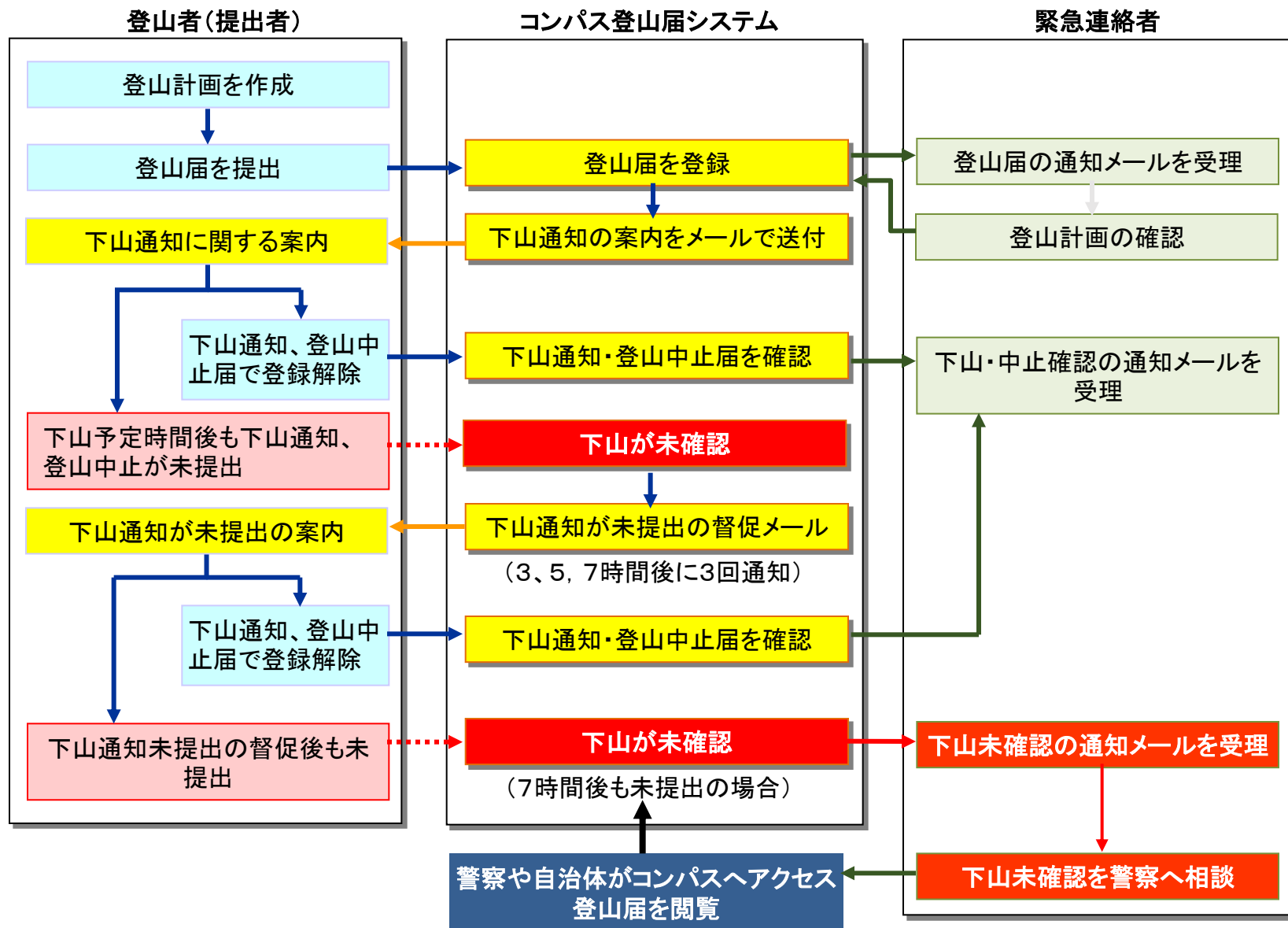
● 警察、消防などの救助者・捜索者と家族・友人との情報共有

- ◆ 登山計画の作成時に任意指定した家族や友人と共有することができ、有事の際は警察や消防等とも情報を共有することができる。

● 登山届提出数が増加した場合の対応

- ◆ 下山報告が高提出率なので、下山者、未下山者の識別が容易になり、不必要な情報をソートすることができる。

序) 「登山者」「コンパス」「緊急連絡者」の登山計画→登山届→下山届の流れ

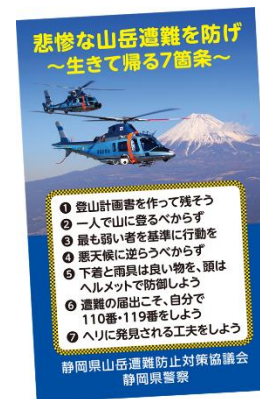


□ 協定締結済みの自治体・警察 (2015年5月現在)

- 長野県警察
- 岐阜県
- 神奈川県警察
- 静岡県警察
- 山梨県/山梨県警察
- 新潟県

□ 現在調整中の自治体・警察

- 中部、近畿、東北地方を核に複数の自治体及び警察と調整中
- 本年中に全国をカバーすることを目標に進めています



自治体・警察との協定締結後、登山者へ向けた安全登山の啓発事業として、名刺大の安全登山カードを作成して各県の登山口や主要山岳施設等で配布しています

1. コンパスの全体構想

登山者が提出した登山届を主軸として「登山前」「登山中」「登山後」の情報ネットワークを整備



コンパス スマートフォンアプリ (iphone版、Android版) 2015年7月リリース 登山地図、緊急ワンプッシュ通報、登山届提出、救助医療対策等

警察／登山届の閲覧、救助捜索

自治体／山岳情報や緊急通報の発信。 地域振興策として「山巡り」サービスで観光情報や周辺施設等のクーポン等を発行

気象予報／山岳エリアのピンポイント天気予報、登山計画のルートに連動した天気予報の発信

準天頂衛星／登山者の位置情報、登山届のエリアに対応した災害通報

保険／登山計画作成時に相応の保険の加入促進

募金／入山料、登山道整備支援金、ふるさと募金

その他／登山者へのインセンティブ、他のネットワークとのコラボレーション等

登山届を核とした安全登山システムとしての取り組み

安全登山システムとしての「コンパス」ネットワーク

- 登山届を提出した登山者へ、登山前・登山中・登山後の情報ネットワーク
登山計画を基に、誰が、何時、何処へとセグメント化した時間軸で情報発信
- 緊急速報通信(プッシュ通信、メール等)
行政から登山者へ登山エリア等で仕分けできる緊急情報発信機能
- 登山届と衛星を用いた位置確認システム
登山者の位置確認分布システム

登山者向けの新たな各種サービス

- コンパススマートフォンアプリ
iphone、Androidアプリから、無料で1/25000版山岳地図が利用でき、現在位置や山行記録のログ機能、「いまここ」で現在位置や定型メッセージを家族や友人と共有できる機能など
- コンパス「気象予報」
1平方キロメートル単位の地点ごとの気象予報や登山計画のルートと連動させた気象予報サービス
- コンパス「登山保険」
自治体や協賛企業等と連携して登山届にインセンティブサービスを付加させた登山者向けサービス

3. 新たなサービス(スマートフォンアプリ)

7月13～17日
公開予定



iphone & Android
アプリがご利用頂けます

- 登山届、下山通知が簡単提出
- 1/25000版山岳地図が
無料ダウンロード
- 「いまここ」機能で現在地を共有
- 過去の登山履歴を記録



※ iOSは7.0以降、Androidは4.0以降でご利用いただけます



「始める」画面

コンパスPCサイト、スマートフォンサイト、コンパスアプリで作成し、提出した登山届を表示します。登山を開始する際は該当する計画を選択してスタートしてください。



「登山届」画面

「マップから」では、フィールドマップの地点を指定し、ルートを登録しながら登山計画が作成できます。「フォームから」では、スタート地、経由地、下山地の地名、日時、時刻等を記入して作成してください。作成中や提出中、下山済みの登山計画の履歴が確認できます。



「マップ」画面

Web版全国地図は通信圏内でご利用頂けます。ダウンロード版の全国山岳地図は無料です。「あしあと表示」で登山中の軌跡を確認できます。「いまここ」は緊急連絡者へ現在地と定型メッセージを通知する機能です。「下山通知」を押すと緊急連絡者へ下山を知らせます。「現在地オン」は現在の場所、標高を表示します



「その他の機能」画面

「過去のあしあと」は、登山履歴のあしあとリストが表示され、地図上に歩いたルートが表示されます。「登山届証明」は、提出している登山届の証明書を表示します。登山口等で登山届の提出を求められた場合、この画面を表示してお知らせください。「コンパスWebサイト」は、Webサイトへリンクされアプリにない機能や情報が盛りだくさんです。

4. 新たなサービス(地点気象予報「てるぼうず」)

7月21～24日
公開予定



てるぼうず地点気象予報

登りたい山岳の天気が一目でわかり便利！

フィールドマップのどこでもクリックすると地点情報欄に気象予報が表示されます。
1kmマスごとに解析した気象予報なので、登山ルートに沿った天気や、県境をまたいだ山岳の両エリアの気象予報にも対応してます！
登山届にも連動しているので、ますます安全で楽しい登山が可能になります！

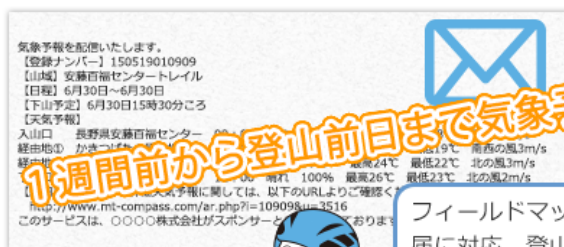
地点気象予報が1週間先まで見られる！(プレミアム)

登山計画に沿った予報メールが届く！(プレミアム)



1時間ごと72時間先までの詳細予報!!
1日ごと1週間先までの気象予報!!


コンパス・プレミアム会員になると、見たい場所の1週間先の気象予報を確認することができます。



1週間前から登山前日まで気象予報をお届け!!

フィールドマップで地点指定した登山届に対応。登山計画で指定した地点の気象予報を登山日の1週間前からメールで受け取ることができます。



てるぼうず地点気象予報 は、株式会社ハレックスのオリジナル気象サービス  HalexDream! を利用しています。

5. コンパスと連携した取り組み例

● 全体

- 自治体・県警察と安全登山に関する登山届の閲覧協定
- 協定締結後の自治体、警察と安全登山の啓発事業として「安全登山カード」の配布
- 準天頂衛星「みちびき」を使った災危通報システムの準備

● 自治体

- 山のグレーディング
長野県・山梨県・静岡県・新潟県がまとめた体力、難易度ランクごとの登山ルート紹介ページを公開
- 登山届提出者へのインセンティブ機能
長野県と共同で安全登山を心掛ける登山者に対し、ポイントを用いたインセンティブ制度を検討中
- 山岳防災減災システム
静岡県と共同で富士山をモデルとして防災減災システムの実証実験を今夏に実施準備中

● 警察

- 事故遭難情報の発信
コンパスのフィールドマップに過去の事故遭難情報を掲載し登山者へ注意喚起

● 民間企業

- **地点気象予報サービス**
- 登山計画と連動した登山傷害保険サービス

コンパス山岳情報ネットワークに協賛いただいた民間企業の皆様から各種事業をサポートして頂いています